

来年度、若年世代のための政策を本格的に始動する
そのための所要の予算を要求

リアルな声を聴く・知る

新規

若者10万人の総合調査

話す・つながる

新規

つながり・居場所づくり支援の強化

新規

地域における相談支援機能強化 等

ニーズごとの個別支援に的確につなぐ
(ヤングケアラー、被虐待/シェルター、自立支援等)

サポートする

新規

支援からこぼれ落ちやすい若者への支援

拡充

資産運用・住まい・企業との連携など、関係省庁とも連携した

ライフデザイン支援

拡充

結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援

一緒に社会を創る

「こども若者★いけんぷらす」の推進
審議会等のこども・若者委員の積極登用推進
こども・若者意見反映ガイドラインの周知啓発 等
若者団体の活動促進
「こどものけんりプロジェクト」の推進 等

新規・拡充を要求

令和8年度概算要求額
47億円



取組を
拡大

若年世代に関する政策の推進 (1) 若者10万人の総合調査

令和8年度概算要求額:1億円

まず、大規模・包括的に若年世代の状況と課題を把握
⇒ 的確な課題認識を若年世代に関する政策の基礎に

令和8年度概算要求

こども家庭庁として初の規模となる

10万人
の若者

総合調査を実施し、若い世代の状況や課題を把握する

若い世代のための的確かつ効果的な政策の展開につなげる

若年世代に関する政策の推進（２）つながり・相談・支援の強化

令和8年度概算要求額:14億円

若者とつながり、相談し、支援につなぐ、その核を地域で創出

令和8年度概算要求

多様でオープンな居場所づくり

- 居場所づくりコーディネーターの配置
- 居場所づくりモデル事業

困難を有する若者へのつながり・相談支援機能強化

- 子ども・若者総合相談センター等を地域の若者支援の核に
- 相談支援や支援のコーディネートについて補助を創設
 - ・ 支援ニーズや地域資源の調査・把握（地域資源マップの作成等）
 - ・ 若者をつながり・安心して困り事等を話せる関係を作る
→ 若者向けスペースの運営、若者を対象とした企画行事の実施等
 - ・ 支援計画の作成、同行支援等

支援からこぼれ落ちやすい若者への支援

- 少年院出院者や要対協終結ケースなど、制度のはざまにある若者と関係を早期から構築、次の支援につなぐモデル事業を創設

コンタクトポイント

つながりの確保

相談支援

支援につなぐ

若年世代に関する政策の推進 (3) 将来設計の可能性の最大化

令和8年度概算要求額:33億円

若年世代の「正しく知りたい」「もっと知りたい」を
サポートして、将来設計(ライフデザイン)の可能性を最大化

令和8年度概算要求

資産運用・住まい・企業との連携など、関係省庁とも連携してサポートを展開

情報提供、支援ツールの提供 等

「正しく知りたい」「将来設計の解像度を高める」に応える情報発信を展開

全国各地での独自の取組も応援

全国の自治体による地域の若年世代のための独自の取組を支援

結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援

交付金により、新婚世帯のライフデザインやプレコン講座等の受講をサポート